

2022年度JKA補助事業 復興支援について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限：2024年6月28日（金）

・提出先：p2022hyoka@keirin-autorace.or.jp

《JKA補助事業 自己評価書（2回目） 記入のしかた・記入例について》

- * **青字部分**は記入例です。記入の際、参考になしてください。
- * **水色箇所**が記入箇所となります。
- * 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

2022年度自己評価書（2回目） 様式・記入例 ↓

整理番号	2022P	-	003	補助事業者名	特定非営利活動法人 ○○○○	補助事業名	被災地域及び被災者受入地域における支援拠点、ネットワークづくり活動
------	-------	---	-----	--------	----------------	-------	-----------------------------------

2022年度 JKA補助事業 自己評価書（2回目）

作成日	2024	年	4	月	25	日	作成者	競輪 太郎
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

1. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書（3／5）4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。

○採点基準については、2022年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』p27,28「自己評価スコアリングガイド」をご参照ください。

(2) 事業内容	事業の発展性	採点
	今回、被災者自身が自分たちで行う○○○についての手伝い等を行ったが、支援を受けるだけではなく、誰かのために自らが行動したことで被災者の「自分たちも支援ができる」という自信につながった。また、自信を持つことで、自分がこれからどうしたいのか、何ができるかを考えるようになり、被災者の前向きな姿勢を見ることができた。仮設住宅の住民同士の仲間づくりや移転先での新たなコミュニティづくりに役立ち、お互いに助け合い、支えあっている姿が見受けられた。	4

(3) 達成目標	事業の成果・波及	達成値	達成状況	具体的内容	採点
※自己評価1回目から変化があった場合に記入してください。					

b. 交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書（2／5）3. 補助事業実施の必要性（1）補助事業が最終的に目指すこと』の、現時点での達成状況をご記入ください。（過去年度から継続して実施している事業の場合は、それも踏まえてお書きください。）

震災後から継続して支援を行っており、被災者の細かなニーズに対応する支援を行うことで、事業を行った地区の仮設住宅に住む高齢者の不安な気持ちが前向きな気持ちに変化し、積極的にコミュニティに参加するなど、孤立や引きこもりを防ぐ一助となることができた。事業を通して、被災者の方々から前向きな声が聞かれたり、彼らが自分たちに自信を持ち始めた姿を目にすることができ、当法人が目指してきた「被災地の高齢者や弱い立場の人々が生き生き生活できるような復興」を一步一步進めていけていると感じている。

【記入にあたっての注意点】

◆整理番号、補助事業者名（法人名）、補助事業名を記入してください。

◆この自己評価書の作成日、作成者を記入してください。

◆交付誓約書添付の事前計画／自己評価書（3／5）の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。
採点欄については、スコアリングガイドを参照の上、採点してください。
（点数はプルダウンで選択できます）

◆（3）達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後（現在）の状況について記入してください。
!! 注意 !! ・【達成値】現時点での「実績値」を記入してください。
・【達成状況】のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書（3／5）記入の内容と比較して算出してください。

◆交付誓約書添付の事前計画／自己評価書（2／5）の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

2. 当該事業についての感想(地域住民の声、事業に携わった人たちの声等)をお聞かせください。

【地域住民】

・貴重な経験であった。今後も継続して実施してほしい。

【携わった人】

・感謝の言葉が多く寄せられ、事業の意義を実感した。

◆今回実施した事業に対して、地域住民の声や事業に携わった人たちの声等を記入してください。

3. 当該事業について、メディア等で紹介された事例がございましたらご記入ください。
また、当該事業について外部への発表の場等がございましたら、併せてご記入ください。

以下のメディアで〇〇〇についての紹介がされた。

・●●●新聞(2022年〇月〇日)、△△△新聞(2023年〇月〇日)
・地方紙□□□民報(2023年〇月〇日)

・ラジオ FM◎◎◎(2022年〇月〇日)

◆今回、補助事業として実施した事業について、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。
特になければ「特になし」と記入してください。

4. 今後、事業の継続や同様の活動等を行う予定があればお聞かせください。

今後、〇〇市で同様の支援を行う予定。特に戸別訪問に力を注ぎ、よりきめ細やかな活動を行っていきたいと考えている。
また、新たなコミュニティづくりにも協力していきたい。

◆今後、今回補助事業として実施した事業を継続する予定や、同様の活動を行う予定があればその内容を記入してください。

5. 事業を取巻く状況や課題、被災地の現状等をお聞かせください。
また、JKA以外で今回と同様の事業に対し、助成を行っている補助団体についてご存知であればお教えてください。

心のケアは長期的な活動が不可欠であるが、震災後、3年を経過する頃から助成金などの支援や、助成団体も減少している。
被災地では復興が進み、安定してきているように見えるが、弱い立場の人々はまだ不安定である。

〇〇〇財団、△△△財団。

◆今回実施した事業の問題や課題等を記入してください。
また、国の施策等による影響などがありましたら併せて記入してください。

◆補助を受けたことがある・ないに関わらず、今回と同様の事業に対し助成を行っている補助団体をご存知であれば、その団体名を記入してください。

6. 上記1～5の補足や、JKAに対するご要望等がございましたら、ご記入ください。

被災者の心のケアをこれからも継続して行っていくためにも、今後も支援を続けてほしい。
被災地についてはインフラの復旧等はほぼ終了しているが、復興の進展に伴い、地域や個人のニーズが多様化しており、よりきめ細やかな支援が必要とされているため、今後も多様なニーズに対応できるような支援を行っていききたいと思う。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。

以上となります。 ご協力ありがとうございました。 p2022hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。

【復興支援事業】